

青学ビジネスフォーラム 2004（第2回）開催のご案内

青山学院大学では、「首都圏南西地域産業活性化フォーラム」の一翼を担う形で「青学ビジネスフォーラム」を2004年に立ち上げ、地域の企業の方々との交流を促進し、産学連携ビジネスに結びつける努力をしております。2004年7月18日に第1回目をスタートし、約25名の方にご参加いただきました。今回第2回は「機械加工」をテーマとして10月9日土曜日で企画しましたが、台風により開催中止としました。そこで再度第2回のご案内をさせていただきます。当大学との連携をお考えの方や研究内容にご興味のある方など、幅広く参加者を募集いたしますので、ご希望の方は連絡先までお知らせいただきますようお願いいたします。

★青学ビジネスフォーラム（第2回）

主 催： 青山学院大学総合研究所

協 力： 首都圏南西地域産業活性化フォーラム運営委員会、相模原市

開催日： 平成16年11月6日（土曜日） 14時から16時

場 所： 青山学院大学相模原キャンパス K棟2階(209号室)ミーティングルーム
会場案内図は青山学院大学ホームページをご覧ください。

お車でのご来場はお断りします。

定 員： 参加人数に制限はございませんが、事前に参加お申し込みいただけますと準備の都合上助かります。なお当日でも受け付けますのでお気軽にお越しください。

講演内容：

☆「空気軸受技術」

講師：大石 進（理工学部機械創造工学科 教授）

物体をある位置で回転させたりある方向に直進させたりするためには、不必要な動きを拘束するためのガイドが必要です。軸が穴に収まっていれば、穴がガイドすなわち軸受となります。ただしこのままでは摩擦が大きく、軸は円滑に動きません。また、より正確な運動をさせようとすきまを狭くしても、軸は円滑に動きません。そこで油をさします。しかしまだガタがあります。ガタをなくすと、円滑に動かすことが難しくなります。そこで、軸と穴の間にころや玉を入れることとなります。これは古代から知られていることです。でもまだころがり摩擦抵抗があります。それでは、いっそのこと強制的に浮かしてしまおうということになります。これに油圧や空気圧を利用すれば、これが静圧軸受です。ここでは空気圧を利用した軸受、空気軸受についてお話します。摩擦は空気の摩擦のみになりますから、非常に円滑に動きます。ゲームセンタにあるエアホッケーに似ています。な

お、リニヤモーターカーで知られているように、磁気を利用して浮かす方法もあります。

・キーワード：データベース、Web サービス、e-ラーニング、有限要素解析

☆「表面変位・ひずみ・応力の全視野計測—デジタル像相関法と新しいハイブリッド解析法—」

講師：隆 雅久（理工学部機械創造工学科 教授）

現在実験力学の分野において、光学的な変位計測法の発展により全視野で高精度な変位計測が可能である。特にデジタル画像相関法は、①複雑な光学系を必要としない、②対象とする材料を限定しない、③非接触で計測可能である、④高精度に変位計測可能であるなどの特徴を有し、今後様々な分野での応用が期待できる。本講演では、デジタル画像相関法と数値計算法を組み合わせる、高精度な変位・ひずみ解析技術を紹介する。

★ 青学ビジネスフォーラム講演内容は、南西フォーラムのサイトからリンクをたどりユーザ登録をすることで、インターネット画像でご覧になれます。

南西フォーラムのサイト <http://nansei.ssz.or.jp>

★ 参加申込み方法 （当日まで受け付けます）

電子メールないし FAX で以下の内容を事務局宛にお知らせください。

・氏名 ・企業名 ・住所 ・電話/ファックス番号 ・E-mail

★ 参加申込み先 （事務局）

宛先：青学ビジネスフォーラム事務局 水澤純一

住所：〒252-5258 相模原市中央区淵野辺 5-10-1 青山学院大学理工学部 O 棟 501 号室

TEL： 042-759-6318

FAX： 042-759-6495

E-mail： mizu@it.aoyama.ac.jp